

1. 2003年度年会について

2003年度年会は東京大学大学院数理科学研究科において、下記のとおり行われます。

場 所： 目黒区駒場3 - 8 - 1 東京大学大学院数理科学研究科

日 時： 2003年3月23日(日)より3月26日(水)まで

なお、駐車スペースが全くありませんので、車での来場はお断りします。

a) 企画特別講演について

1997年度年会より、日本数学会の理事会および学術委員会で特別プログラムを組んでいます。これは、大学院生等若い会員が学会に参加してより意義あるものにするを目的としています。具体的には、年会の第1日、第3日、第4日の3日間、13:00～14:00の1時間に企画特別講演を複数並行して行います。したがって各分科会、セッションの一般講演、特別講演の通常プログラムは午前中と午後2時以降となります。なお、第2日は従来通り総合講演を行います。

b) 講演申込について

この会で講演することを希望される会員は、2001年度会員名簿にとじこまれている講演申込書に記入してお申込下さい。その際会員番号を必ずご記入下さい。

数学会では1995年度日本数学会秋季総合分科会(於東北大学)よりセッション「無限可積分系」を新設致しました。講演の発表、募集はこれまでの分科会と同じように公募形式を取り、アブストラクト集の作成、特別講演も分科会と同様に行われます。講演希望の方は、講演申込書の「希望分科」欄に「無限可積分系」とお書き下さい。

複数の講演を希望される場合は、題目ごとに一枚の講演申込書を用いて下さい。複数の分科会あるいはセッションにわたる場合は、その分科会名あるいはセッション名を講演申込書の備考欄にご記入下さい。また、OHPの使用を希望される方はその旨講演申込書の備考欄に朱書して下さい。

なお、大会運営上講演時間及び講演件数を制限させて頂く事もあります。

予稿(アブストラクト)原稿も、下記の注意に従ってご提出下さい。

講演申込先：〒153-8914 目黒区駒場3 - 8 - 1

東京大学大学院数理科学研究科

日本数学会年会委員長 松本 幸夫 宛

封筒の表面に“講演申込”と朱書のこと。

申込締切：12月6日(金)までに申込先に到着するようお送り下さい。

(締切後の追加申し込みは受け付けられません。)

申込件数の制限：応用数学分科会では、申込件数を1人当たり2件以内とします。

申込用紙：各題目ごとに、名簿とじこみの用紙、またはそれと同じ形式のものを用いて下さい。

予稿原稿：名簿とじこみの下敷きと同様のフォーマットでお作り下さい。

キ - ワ - ド・分類コード：函数論、応用数学、統計数学各分科会への講演申込に当たっては、それぞれ次の分類コードから選んで、講演申込書の備考欄にキ - ワ - ド等を記入して下さい。

函数論分科会：1 [1変数函数論]，2 [多変数函数論]

応用数学分科会：1 [解析系応用数学]，2 [離散系応用数学]，3 [その他]

統計数学分科会：1 [確率論，確率過程論]，2 [計画数学]，3 [確率分布，
標本分布，乱数]，4 [実験計画法]，5 [多変量解析]，
6 [時系列解析]，7 [ノンパラメトリック解析]，8 [漸近
理論]，9 [応用統計]，
10 [推測理論] (3 ~ 7 に含まれないもの)，
11 [その他]

上の分類コードは，講演申込数の動向などに応じて改訂を検討することになって
おりますので，ご意見を代表評議員 (予稿原稿送付先) までお寄せ下さい。

c) 予稿集について

各分科会，セッションとも予稿原稿に従って講演予稿(アブストラクト)集を作ります。

(1) 基礎論及び歴史・代数・幾何・函数論・函数方程式論・実函数論・函数解析・トポ ロジ - 分科会・「無限可積分系」セッション

これらの分科会，セッションでは提出された原稿をそのままコピー - 印刷致します
ので，名簿とじこみの原稿用紙下敷き (アブストラクト用フォーマット用紙) と同
様のフォーマットで黒インク (または黒のポ - ルペン，濃い黒鉛筆，ワープロ) で
丁寧にお書き下さい。長さは，名簿とじこみの下敷き表裏両頁 (900字) 以内です。
講演申込と同時に提出下さい。

(2) 統計数学分科会

統計数学分科会では予稿集の原稿締切は，講演申込の締切と同時ではなく，
2003年1月17日 (金) と致します。原稿送付の際には，講演申込のコピーを
添付して下さい。また出来ましたら連絡用電子メールアドレスを合わせてお知らせ
頂きますと大変ありがたく思います。送り先は，

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学理学部数学科 富崎 松代 宛

です。提出された原稿をそのままコピー - で印刷致しますので，所定の書式 (会員名
簿を参照) に従い原稿用紙 (B5サイズ用紙2枚，原稿の文字は黒のみ) の印刷範
囲の枠に収まるよう作成して下さい。なお締切を過ぎて到着した原稿は予稿集に収
録できないことがありますからご注意下さい。

(3) 応用数学分科会

応用数学分科会 (別記のように申込件数は2件までに制限) では予稿集用の原稿
締切は講演申込締切と同時ではなく，2003年1月17日 (金) と致します。

送り先は，

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学数理解析研究所 岡本 久 宛

です。提出された原稿は，そのまま原寸でコピー印刷致しますので，所定の書式に従
い黒インク (又は黒のボールペン，ワープロ) で楷書で丁寧にお書き下さい。なお，
書式については会員名簿の下敷きをご参照下さい。長さは，1件当たり4頁以内とし

ます．

d) 会合の申込について

各分科会または研究団体で、会合のために部屋の準備を必要とされる場合は、会合の名称、責任者の氏名・連絡先、使用の日時・人数、弁当の有無等を明記した書面を下記に提出下さい。なお、期限後の申込については、会場確保が不可能となる場合もあります。

申込先：〒153-8914 目黒区駒場3 - 8 - 1

東京大学大学院数理科学研究科

日本数学会年会実行委員長 岡本 和夫 宛

封筒の表の面に“会合申込”と朱書のこと。

申込締切：12月6日(金)必着,申込順を考慮して会場の部屋割りをします。

e) 「無限可積分系」セッション新設は1995年度第1回評議員会で提案され、第2回評議員会で設置が認められました。このセッションについては、日本数学会理事会の責任において行うものですが、今回の実務的な責任者は山田泰彦氏(神戸大学理学部数学科)です。

f) 1997年度年会から引続き行われている企画特別講演の講演者については分科会評議員、および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに、理事会で決定いたします。なお、アブストラクトは総合講演アブストラクトとあわせて作る予定です。

g) 書籍等展示の申し込みについて

賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は申込書2枚(日本数学会理事長宛、大会委員長宛)を12月6日(金)までに下記(展示とりまとめ当番社)へお送り下さい。

送り先：〒113-0034 文京区湯島4 - 1 - 22

(株)マテマティカ

電話:03-3816-3724 FAX:03-3816-3717